

航空科学技術に関する研究開発の推進方策の概要

～今後10年程度を見通して当面5年間から7年間に取り組むべき重要事項～

意義

- 我が国の社会基盤を支え、安全・安心で持続的に成長する社会に貢献する
- 高い技術波及効果により我が国の科学技術及び産業技術基盤を充実させる
- 我が国の航空機産業を基幹産業へ高め、裾野の広い産業の育成に貢献する
- 我が国の安全保障の基盤を形成する

基本的考え方

社会のニーズに即した成果の還元

国力の源泉となる
独創的な技術への挑戦

技術基盤の充実による
研究開発の高度化

柔軟で効果的な研究開発活動を
支えるための環境整備

重点的に進めるべき研究開発

社会からの要請に応える研究開発

目標: 今後5～7年間で成果を実用につなげる

- (i) 航空機及びエンジンの全機インテグレーション技術の獲得に貢献する研究開発
- (ii) 安全・高効率運航技術の研究開発
- (iii) 防災・減災に貢献する技術の研究開発

次世代を切り拓く先進技術の研究開発

目標: 社会的インパクトのあるブレークスルー技術の実現性を示す

- (i) 次世代超音速機技術の研究開発
- (ii) 革新形態航空機技術の研究開発
- (iii) 極超音速機技術の研究開発と宇宙輸送への発展

航空科学技術を支える基盤の充実

目標: 世界に誇れる成果を生み出す研究開発基盤を構築する

- (i) 基盤技術の強化 (ii) 高度大型試験研究設備の整備

研究開発の推進に当たっての重要事項

推進体制

- ・各組織の役割(文部科学省・JAXA・大学)
- ・関連機関の連携

航空科学技術の振興

- ・人材育成・確保
- ・研究開発の説明責任と情報発信の強化及び国民意識の醸成
- ・知的財産の積極的な獲得・権利保護・活用

国際協力等のあり方